

## 編集後記

先日、建築工事現場の電気設備撤去電力立ち合いに行ってきました。立ち合いそのものは特に問題なく終了し、その後電力会社の協力会社の方が、電柱に登って供給電線を撤去する工事をする手筈となります。この工事そのものは当社側には関係ないのですが、近辺道路で行う事もあり、少し段取りを見ていました。電気工事屋さんが3名と交通誘導員の方が1名です。まず、工事打ち合わせ、KY活動を始めるにあたって、リーダーの方が何やら胸ポケットから小型の機械を出して操作し始めました。いわゆるボイスレコーダのようです。そして、打ち合わせとKY活動の内容を録音していました。自分と各自の発言は確実に録っている様子でした。横で見ていた私は、衝撃を受けた次第です。「安全活動はここまで来たんだ!」と。確かに非常に有効です。全員参加で打ち合わせ、KY活動をしっかりやる、という事と、言った言わない、聞いた聞かないを排除するという点において絶大な効果があると思われます。「さすがに大企業となるとやる事が違う」「というより、他の業種では当たり前なのだろうか」「まさか、当社だけが遅れてるの?」などなど、結構な衝撃でした。それとともに「確かに有効だが、なんだかなあ」という違和感が湧いてきたのも確かです。

「安全は管理である」目的は「安全」なのか「企業防衛」なのか? 筆者は現場経験が長いので、小さなものからとんでもない大事故まで様々な災害を見てきました。特に昨今は、特別教育講師や職員研修で安全に携わる事も多いので、かなり考えさせられる出来事でした。大事故の悲惨さを思い起こすと、「自己防衛」の為に必要なのかもしれない。会社の安全担当とも話してみようかと考えています。

さて、本来の編集後記なのですが、今回の特集は「安全」です。安全に関する事例は、基本的には地道なものが多く、なかなか報文を集めるのも難しいかと思いましたが、いつもお世話になっている「ヘルメット」や「マスク」といった安全アイテムに焦点を当ててみました。各社さんのこれまでの努力がにじみ出ていて、非常に興味深い内容となっています。また、こういった安全の歴史に、最近は「情報」といったキーワードがプラスされてきているのは世の流れかと思われました。

建設業界は人材不足という荒波と今後戦っていかなくてはなりません。この荒波は「安全」に対してかなりの攻撃力を持っているのは明白です。こちら、今まで以上に安全力を高め業界全体で戦わなければならないでしょう。

最後になりますが、お忙しい中ご執筆いただきました皆様には深く御礼申し上げます。

(京免・太田)

### 6月号「都市環境向上、都市基盤整備、まちづくり特集」予告

・都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画制度 ・御茶ノ水駅付近耐震補強工事 (JR 東日本)  
・相鉄 JR 直通線羽沢駅工事 ・さがみ縦貫相模原インターチェンジランプ橋上部工事 ・築地大橋の施工 ・357号線東京港トンネル ・武蔵水路改築工事 (水資源) ・五反田川放水水路トンネル工事 ・浜松市防潮堤工事 MY-BOX による CSG 防潮堤施工 ・新橋駅改良工事における柱リフトアップと大屋根スライド工法 ・明治神宮ほかグラウンド整備工事 ・東松島市野蒜北部丘陵地区震災復興まちづくり事業 CM 方式 ・宮古スマートシティ

### 【年間購読ご希望の方】

①お近くの書店でのお申込み・お取り寄せ可能です。 ②協会本部へお申し込みの場合「図書購入申込書」に以下事項をもれなく記入のうえ FAX にて協会本部へお申込み下さい。

…官公庁／会社名、所属部課名、担当者氏名、住所、TEL および FAX

年間購読料 (12 冊) 9,252 円 (税・送料込)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
塚原 重美	中岡 智信
中島 英輔	橋元 和男
本田 宜史	渡邊 和夫

### 編集委員長

田中 康順 鹿島道路(株)

### 編集委員

吉田 潔	国土交通省
三浦 弘喜	農林水産省
早矢仕 明	(独)鉄道・運輸機構
加藤 誠	鹿島建設(株)
立石 洋二	大成建設(株)
岩野 健	清水建設(株)
赤井 亮太	(株)大林組
久保 隆道	(株)竹中工務店
安川 良博	(株)熊谷組
中村 優一	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
岡田 英明	五洋建設(株)
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
相田 尚	(株)NIPPO
岡本 直樹	山崎建設(株)
太田 順子	コマツ
大塚 清伸	キャタピラー・ジャパン(株)
小倉 弘	日立建機(株)
上田 哲司	コベルコ建機(株)
石倉 武久	住友建機(株)
原 幹生	(株)KCM
江本 平	範多機械(株)
竹本 憲充	施工技術総合研究所

### 事務局

日本建設機械施工協会

## 建設機械施工

第 67 巻第 5 号 (2015 年 5 月号) (通巻 783 号)

Vol. 67 No. 5 May 2015

2015 (平成 27) 年 5 月 20 日印刷

2015 (平成 27) 年 5 月 25 日発行 (毎月 1 回 25 日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

## 発行所 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154

電話 (0545) 35-0212

北海道支 部 〒060-0003 札幌市中央区北 3 条西 2-8

電話 (011) 231-4428

東北支 部 〒980-0802 仙台市青葉区二丁目 16-1

電話 (022) 222-3915

北陸支 部 〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1

電話 (025) 280-0128

中部支 部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-10

電話 (052) 962-2394

関西支 部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4

電話 (06) 6941-8845

中国支 部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22

電話 (082) 221-6841

四国支 部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22

電話 (087) 821-8074

九州支 部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30

電話 (092) 436-3322

本誌上への  
広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-21-5 井手口ビル 4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: [san-mich@zam.att.ne.jp](mailto:san-mich@zam.att.ne.jp) 担当: 田中